

## 学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称      博士（医学）      氏名 七戸 龍司

審査担当者	主査	准教授	飛 驒 一 利
	副査	教授	山 本 有 平
	副査	教授	生 駒 一 憲
	副査	教授	田 中 真 樹
	副査	教授	鑑      邦 芳

### 学位論文題名

顔面-舌下神経間置移植下における軸索再生および表情筋への影響  
～動物モデルを用いた顔面神経不全麻痺に対する外科的治療の検証～

学位審査において申請者は下記の内容について発表した。

本研究で IPNG を介した軸索再生は双方向になる可能性があり、また神経損傷により影響を受けることが示唆された。IPNG を介した軸索再生はより健常な神経から損傷を受けている神経の方向へ向かうと考えられる。本研究では動的なスコアには有意差が認められなかったが、静的なスコアで手術の効果を確認することができた。

質疑応答についての概要は以下の如くであった。

田中教授からこの IPNG より形成された神経ネットワークには側枝形成が確認されたか、また静的スコアのみで改善が認められた結果で術後何週の時点でグループ間の差がでるのか、顔面神経に支配された舌の表情筋収縮と同期した動きは確認できたか質問があった。鑑教授から顔面神経麻痺のスコアの採点方法、また標識された神経細胞の観察において単一の研究者によりされており、研究がランダムイズドコントロールスタディの見地からは再現性が低いとの指摘があった。次に飛驒准教授から臨床での実際と本研究との乖離について質問があった。また生駒教授から神経トレーサーを用いた神経支配の検証についての特徴について質問がされた。最後に山本教授から今後の課題について質問があった。

申請者は自験例と過去の文献を引用し回答した。

この論文は、これまで内容を発表した国内の学会および国際学会で高く評価され、今後の端側縫合を応用した神経再建手術の本質の追求、および顔面神経不全麻痺に対する神経再建手術の基礎および臨床研究結果に有用な新知見を付与するものと期待される。

審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ申請者が博士（医学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。